

にこ通

2021.8月
vol.111 あ

最近エアコン28度設定で眠りに付き
4時頃目が覚め、エアコンを切って
窓を開けもうちょっと寝る。とんは毎日。
休調はいいです



祖母と母をつなぐ旅 (完結編)

60年前にお参りしたお墓を見つけることができます。数日が経過した7月のある土曜日。
相続に関するご相談でAさんが来店。僕とは初対面でお互いや緊張の面持ち。
Aさんからひと通りのヒアリングを終え、冷たい麦茶を流し込む。とんは和やかな雰囲気。
(あ! とういえばAさん、小矢部にお住まいだよな。ダメもとで聞いてみるが...)



「Aさん、ちょっと聞いてみてもいいですか? 実は...」
・家系図作成をキッカケに母の記憶と祖母をつなぐ旅に出かけたこと。
・現地調査の結果、を見つけることができなかったこと。 を打ち明けました。

すると、Aさん

「60年も前のことですか〜。流石に難しいかもしれませんね〜。ん〜でも...私小矢部のこととんなりに
詳しいですよ... ちょっと... 心当たり当たってみますね」と言ってくれたのです。

そのま(週間)が経過...

「やっぱり無理だよな。あれだけ回って分からなかったんだから」と思い始めた頃、一本の電話。
電話の声は少し興奮気味のAさんでした。「勝裕さん、お墓見かりましたよ!!」
「僕の友人で、蓮沼の歴史にとて詳しい人がいて、戸籍の情報やお母様の記憶をつなぎ合わせて辿って
いったところ、お墓の場所が分かったんです!! 地元の人でも分かりにくい場所にありました。
勝裕さんのお母さんの記憶そのままだと思いますよ!!」



60年ぶりのお墓参り。Aさんに感謝です。

とんは7月22日(木)母、叔母とふたたび蓮沼へ。

教えてもらった場所に行くと、小高い丘のような所にお墓が3つ。
まさにとんには母の記憶にある60年前の風景が広がっていました。

そのお墓は、祖母の父親の山本本家の墓。とんは祖母の父が婿養子
に行、た先の田中家の墓でした。母、叔母は手を合わせながらいろんな想いがこみあげたんじゃないかな。
僕も、おばあちゃんの両親やとんの上のご先祖さまが眠るお墓に手を合わせ、

「命を頂いてきてくれてありがとう! おかげでこうして元気に生きています!」と心で伝えました。

今回、僕の目の前に起きたことは奇跡の連続でした。現地調査しても分からなかった(ほんの数日後)
Aさんが来店され、話の流れで話してみて、Aさん小矢部に詳しく、さらに蓮沼に詳しい方と繋がって...
もしかしたら...おばあちゃんがこのタイミングで導いてくれたのかもよな。きっととんだと思う

これから定期的にお参りに行こう

〜 祖母と母をつなぐ旅 完 〜